

## 14 番（小川義昭議員）

いずれにしても、この公共ゾーンのことについては、地元の地権者の方は大変ウエルカムです。

そして、私は何よりもこの地域にそれぞれの市・県・国の行政組織、そして今ほど申しましたような集積、誘致することによって、一番喜ばれるのが市民の皆さんではないかなと思いますので、ぜひ前向きに、早急に取り組んでいただければと思います。

最後に、今年の7月3日から20年ぶりに1万円札、5,000円札、1,000円札の新紙幣の流通がスタートしました。1万円の新紙幣に経済人として初めて多くの企業を設立、育成し、公益と私益を両立する道徳経済合一説を提唱した渋沢栄一が登場しました。渋沢栄一は、明治期から昭和期までの激動の時代において日本経済の基礎を築き、日本初の銀行を設立しただけでなく、様々な種類の会社設立に携わった人物であります。その人生において、渋沢栄一が夢を持つことがいかに大切かをうたった夢七訓があります。御紹介します。

夢なき者は理想なし。

理想なき者は信念なし。

信念なき者は計画なし。

計画なき者は実行なし。

実行なき者は成果なし。

成果なき者は幸福なし。

ゆえに、幸福を求むる者は夢なかるべからず。

このように、幸せな人生は夢を持つことから始まり、夢を持つことが大切だと渋沢栄一は述べています。

今、白山市民の皆さんが大いに期待している懸案事項は、JR松任本所の広大な跡地がどのように開発されるのか、また、今ほど申しました庁舎と中央病院間の土地の開発構想がどのようになるのか、このことであります。

田村市長、白山市民の皆さんに大きな夢を与えて、実現してください。そして、市民の皆さんが将来に夢と希望を描ける白山市づくりの実現に向け、田村市長自らが先頭に立ち、これらの懸案課題事項に対して真剣に取り組んでいただくことを御期待して、私の質問を終わります。